

主題名

人間の力をこえるもの

教材名

「一本松は語った」(東京書籍)

内容項目

D-(21) 感動・畏敬の念

本主題で育成する資質・能力

思考・表現

- 1 対象・日時 第5学年1組 計12名
令和7年7月9日(水) 第2校時

2 主題設定の理由

本主題は、「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編」小学校第5学年及び第6学年の内容項目D-(21)「美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつこと。」を基に設定したものである。

第5学年及び第6学年においては、人間のもつ心の崇高さや偉大さに感動したり、真理を求める姿や自分の可能性に無心で挑戦する人間の姿に心を打たれたり、芸術作品の内に秘められた人間の業を超えるものに気付いたり、大自然の摂理に感動しそれを包み込む大いなるものに気付いたりすることなどを通して、それらに畏敬の念をもつことが求められる。このことから、様々なことに素直に感動し、すごいと思うことが、人間として生きる幅を広げ、成長を促し、豊かに生きることにつながるということに気付くことで、畏敬の念をもとうとする心情を育てることにつながることを考え、本主題を設定した。

本校の児童は、「感動、畏敬の念」において、心の動きや感じたことを言葉で表現することへの苦手意識や、生活経験の差が大きいことから、客観的な考えの交流に留まってしまい、自然の美しさや人の心の気高さ、人間のもつ心の純粋さや大自然の壮大さなどに感動したり、畏敬の念を抱く心を自分自身もっていることに気付くことや、大切にしたり深めていったりしようとするまでに至っていないという課題がある。また、本学級の児童は、教材文を通して、登場人物の思いに寄り添ったり考えをもったりすることができる児童が多くいるものの、自分の考えを伝えることに意欲的な児童と消極的な児童との二極化が顕著であることから、意欲的に発表できる児童のみで学習が展開されることに課題がある。

本教材は、高田松原を襲った津波と、その際に残った一本松を擬人化しながら、これまでに人々が行ってきた取組と、高田松原の人々の希望について書かれている物語である。

指導に当たっては、哲学対話の手法を取り入れ、「問いづくり」「考えづくり」「生き方づくり」の学習展開を進める。その中で、児童が「問い」を生み出し、その問いについて多面的・多角的に自分の考えを深め、自己の生き方について考えを深めていけるように対話の時間を十分に確保していく。哲学対話をする「考えづくり」では、対話のルール等を設定し知的安全性が担保された中で対話ができるようにしたり、多面的・多角的に考えるよさや重要性を共有したりすることで、一人一人の意見を尊重しつつ、様々な意見を引き出したり、つないだりしながら、感動、畏敬の念について考えていけるようにする。「問いづくり」でもった児童の問いを起点に哲学対話をすることで、甚大な被害があった中で生き残った一本松の偉大さや自然がもたらす人知を超えた力のすごさに気付かせたい。また、その偉大さや力に心を動かされることで、人間は、自分の生き方について考えるきっかけを見付けたり、自分の行動をどうすべきかを考えるきっかけになるということに気付いたりし、感動、畏敬の念を抱くことは自己の生き方を広げ、豊かに生きることにつながるということについても児童が考えを深めることを目指す。

3 本時の学習

(1) 本時のねらい

児童から出てきた「問い」について対話することを通して、「人間の力を超えるもの」について多面的・多角的に考え、「感動するよさとは何なのか」を追究し、人間の力を超えるものに対する畏敬の念をもととする心情を育てる。

(2) 学習の流れ

	学習活動	教師の問い (○) 児童の問い (★) と心の動き (・)	指導上の留意点 (・) (◎評価の観点)
問 い づ く り (12分)	1 道徳的価値について課題意識をもつ。	<p>道徳的諸価値に関する問い</p> <p>○みんなにとっての「感動」って何だろう。 道徳的諸価値に関する「答えのない問い」につなげる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心が動くことかな。 ・「すごい。」「かっこいい。」「きれい。」みたいな感情のこと。 ・涙が出ること。 <p>○例えば、どんなことで心が動いたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショーを見て涙が出た。 ・赤ちゃんが歩いたり、拍手のまねしたりなど、できることが増えていくのを見たときすごいと感じた。 ・頑張っている人の涙を見て、自分も涙が出た。 <p style="text-align: center;">テーマ 「感動する」よさって、何だろう。 〈道徳的諸価値に関する「答えのない問い」〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に本時で扱う道徳的価値に関する答えのない問いについて聞きとりをし、既存の考えを共有することで、考える必然性をもたせ、内容項目を意識づける。 ・「そもそも感動は必要なのか」「しないといけないものなのか。」を問うことで、テーマへの方向付けを行う。
	2 教材について自分との関わりで考える。	<p>自己を見つめる問い</p> <p>○実際に起こった出来事を基につくられたお話で、実在する奇跡の一本松とその地域の人々が出てきます。自分の心が動くところはどこだろうと考えながら観てみよう。 自分との関わりで考えるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災は知っているし、津波で多くのものがなくなったのも知っているけど、改めて恐怖を感じた。 ・あの津波に耐えた一本松は本当にすごいと思う。 ・「時に自然は怖い」という言葉から、西日本豪雨の時の土砂崩れを思い出したな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長い資料であることや教材を理解した上でしっかり考えられるように、事前読みを行い、感想、疑問をもった上で、もう一度、動画を視聴させる。 ・教材に入り込んで、自分ごととして考えられるように視点を示して聞くよう声をかける。
	3 テーマ、教材を踏まえた問いを考える。	<p>○動画を観て、みんなで考えてみたいことは何だろう。 〈自己を見つめて発見した「答えのない問い」〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ★一本松も人々も、なぜ頑張ろうと思えたんだろう。 ★人々はなぜ、大変で長い年月がかかる松を植え直そうと思ったんだろう。 ★一本松が伝えていることは何だろう。 ★人々は、一本松の何に感動したのだろう。 ★この松がなかったら、人々はどうなっていたのだろう。 <p>○どんな疑問(多面的・多角的)について、みんなで考えたいだろう。 多面的・多角的に向き合うための対話に向かうための工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感想や問いを考えながら読むように声をかける。 ・児童から出た感想を使って、場面や教材、登場人物の把握を行い、板書に整理する。 ・「感動するよさは、何か」について考えていけるよう方向付けを行う。 ・ここで決める問いはあくまでスタートの問いであり、他の問いが対話の中で出てきてもよいことを確認する。

<p>4 児童が考えた問いを基に対話する。</p>	<p>多面的・多角的に向きあう問い 〈自己を見つめて発見した答えのない問いによる対話、対話による新たな問いの発見〉</p> <p>★一本松も人々もなぜ、頑張ることができたんだろう？ ・一本松は「悲しくて、さみしくて、悔しくて」って言うっていたもんね。もういいやってなっていたと思うの にね。</p> <p>☆もういいやって、どういうこと？ ・絶望というか、絶対もう何もしたくない気持ちになっ ていると思う。 ・だけど、生きようと思えたのは、人間のおかげだよ ね。②③④</p> <p>★一本松は人間のどんな思いに心が動いたんだろう？ ・一生懸命残そうと思うその気持ちにじゃないかな。</p> <p>☆どういうこと？もっと詳しく教えて。 ・人が一生懸命だと、自分も頑張らないとって思う感じ かな。②</p> <p>☆例えば？そんな経験ある？ ・学習発表会で他の学年が一生懸命頑張っていたら、私 も頑張ろうって思ったことがあるかな。①②</p> <p>・自分を希望だと言ってくれる人間の思いに心が動かさ されていたんだろうし、流された他の松の分まで生きた なきゃいけないと思ったんじゃないかな。①②③④</p> <p>☆だったら、人間は？なんで、自分たちも傷ついて、絶 望して、悲しくて…そんな中で、大変な松を残そうと 思ったんだろうね。 ・人間は一本松の逆で、一本松があつ津波に耐えたとい う奇跡、びっくりするくらいの力に、生きる希望をも ったからではないかな。①②③</p> <p>☆生きる希望とは？ ・「すぐに気持ちを切り替えて頑張ろう。」とかは思えな いと思うけど、「前の松原に戻したい。」みたいな希望 かな。②</p> <p>☆他には？ ・昔の人が自分たちのためにしてくれたように、「この 松原を、松を、残していきたい。」「だから、頑張る。」 みたいな希望かな。③⑤</p> <p>★一本松が残っていなかったら、人々はどうなってい たんだろう。 ・「復興しよう。」という思いをなかなかもてなかったん ではないかな。 ・自然ってものすごい力をもっているんだね。①</p> <p>★「感動する」よさって、何だろう？ ★感動があるのとないのでは、どう生き方が変わるのだ ろう？ ・いろんな出来事に心が動くからこそ、「頑張ろう。」「で きるようになりたい。」など、自分の過ごし方や行いへ の考えが広がるんだなと思ったよ。①②</p> <p>・「感動しよう。」「感動しなくちゃ。」と思うことでは ないかもしれないけど、いろんなことに感動できる方 が、楽しそうだなと思うよ。①</p>	<p>・問い合ったり、聞き合っ たりすることを大切にす る。 ・必要に応じて役割演技を 取り入れる。</p> <p>対話のツール 問いワード ☆なんで？ ☆例えば？ ☆どういうこと？</p> <p>〈対話を促すための工夫〉 ・児童が主体的に問いワー ドを使って対話をつなげ ていけるように、教師も 問いワードを活用して、 児童の発言をつないでい く。</p>
---------------------------	--	--

<p>生き方づくり (8分)</p>	<p>自己の生き方についての考えを深める問い</p> <p>○あなたにとって、自己の生き方につながるための工夫感動するよさって何だろう。感動に対する、これまでの自分、これからの自分について何を考えるだろう。〈道徳的諸価値に関する「答えのない問い」に基づく自己の生き方についての考えを深める問い直し〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業式の日、卒業生からの歌を聞いて涙したのは、卒業生の思いや姿に心が動かされたからなのだとわかりました。感動はあまりしていないと思っていたけど、心が動くって自分の見方が広がるいいことなのかなと思いました。「自然から力をもらう」という経験はなかったけど、もう少し日々の出来事に心を動かせる人になりたいです。 当たり前にある自然が当たり前じゃなく、長い年月をかけて、いろいろな努力で作り出されているものだと知りました。「当たり前」ではなく、いろいろな自然や出来事に目を向け、心を動かすことができる方が生活が楽しくなったり、やる気が出たりして素敵だなと思いました。何事にも感動できる自分になりたいなと思います。 	<p>◎感動や畏敬の念を抱く心のすばらしさに気づき、人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもとうとする思いをもつことができる。(ノート)</p>
------------------------	--	--

4 哲学対話を通して児童が多面的・多角的に向き合う道徳的価値

